

11月

カトリック麹町教会

magis

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに ～希望に錨を下ろして～



▲「青年の祝祭」に集った若者たち

ローマへの巡礼にともに参加して

助任司祭 ボニー・ジェームス

「長い旅の後に大家族の家に帰ったようでした」「世界中から来た若者が、同じ方に向けて心をひとつに祈っていました」「12日間の巡礼は、祈り・交流・一致の日々でした」。これらは、今年の夏にローマで行われた「青年の祝祭」に、聖イグナチオ教会から派遣された若者たちの感想です。他にも多くの国の若者たちが、「パパモビルが通り過ぎた時わくわくでも教皇に会えた喜び」「同じカトリックの信仰をもつ同年代の若者と出会えた恵み」「祈りと黙想を通して自分たちの信仰のバッテリーを充電できた

満足感などについて分かち合ってくれました。一週間にわたったローマでの集いは、世界中から集った百万人の若者にとり、人生のかけがえないひと時となりました。若者の教会離れを懸念しているこの時代だからこそ、こうした大規模な集まりは、教会の未来を担う若者に希望を与える機会になると思います。

青年への集いの呼びかけ

今回の「青年の祝祭」は、2025年聖年の特別な青年の集いでしたが、以前から2〜3年ごとに「ワールドユースデー」(World Youth Day・以下WYD)が世界各地で行われてきました。WYDは、国連が1985年を「国際青年年」と定めたことを受け、教皇ヨハネ・パウロ二世が青年たちにローマへと集うよう呼びかけたことに始まります。世界中から30万人の青年たちが教皇・司教・司祭とともにひ

つつの場所に集まり、出会いを喜びました。1987年ブエノスアイレスと1989年サンティアゴ・デ・コンポステーラには、それぞれ百万人を超える若者が参加しました。1991年のポーランドのチェンストホヴァでは160万人の青年が参加し、教皇ヨハネ・パウロ二世の母国での最初の大会となりました。米大陸で最初の1993年デンバー大会では、70万人が集いました。1995年のマニラでは400万人が集まり、史上最大のWYDとなりました。1997年パリでは160万人の若い巡礼者が集まり、祈りと賛美の歌を歌いながら街中を巡りました。イエスの誕生から2000年を記念する大聖年のローマ大会では200万人が集まり、祈りと交流の場とともにしました。2002年のトロントには80万人が集い、ヨハネ・パウロ二世のもとで行われた最後の大会となりました。その後、2005年ケルン(参加者120万人)、2008年シドニー(80万人)、2011年マドリッド(200万人)、2013年リオデジャネイロ(300万人)、2016年クラクフ(ポーランド、80万人)、2019年パナマ(70万人)、2023年リスボン(150万人)と、WYDの伝統が絶え間なく続いてきました。

次回WYDは、2027年に韓国ソウルで開かれます。日本からも多くの若者が派遣され、未来の教会を担う世代に希望を与え続けるようお願いいたします。最後にありますが、今回のローマ巡礼への派遣を支えてくださった信徒の皆さんに、心より感謝申し上げます。同時に、今回のローマでの集いに参加できなかった青年たちも、次回ソウル大会に参加できるよう願っています。

教会報 MAGIS11月号

★【聖年】 聖年のローマ巡礼報告	P2~3
★ 教会行事報告	P4
★ 司祭叙階おめでとうございます！ パウロ・ガン・グエン・タン・アン神父	P4
★ 2025年教勢調査	P5
★ (教会活動連絡会便り) ~福祉連絡会~	P6
★ Family of St Ignatius ~スペイン語圏から~ インサート	P7
(ともに歩む教会の祈り)	

【11 月の共同祈願】

死者の月にあたり祈ります。
教会では 2 世紀から
死者のために祈る習慣があります。
今、わたしたちが祈る聖堂の地下にはクリプタがあり、
生者（せいしゃ）と死者が祈りで支え合っています。
この交わりをわたしたちが
これからも大切にしていけますように。

教皇レオ十四世メッセージ

わたしたちは「宣教する教会であり、
橋を築き、対話を促す教会、
このサンピエトロ広場のように両翼を広げ、
わたしたちのいつくしみ、存在、対話への意欲と
愛を必要としているすべての人を受け入れる、
つねに開かれている教会」なのです。

＊ 2025 年 5 月 8 日、教皇レオ十四世「最初の祝福」
＊ 教皇庁シンドス事務局『シンドス実施ステージの旅程 2025-2028』より

イグナチアンニュースデー 2025

〈希望は欺かない〉

聖年のローマ巡礼報告会

10 月 12 日（日）のイグナチアンニュースデーは、「希望は欺かない」をテーマに行われました。ローマでの「青年の祝祭」に参加した 9 名の青年巡礼団による報告会から始まり、聖体賛美式、青年の集い・食事会と続き、さまざまな言語グループの青年が会し、交流を深めました。

●巡礼報告会

青年巡礼団は 7 月 26 日から 8 月 6 日まで 12 日間で、フランス・テゼからイタリアに入り、ローマ周辺の他、アッシジを巡りました。報告会の内容をお伝えします。

（報告者・敬称略）

①テゼ

テゼは、フランス東部の人口 100 人ほどの小さな村です。テゼ共同体というエキュメニカルな（教派を超えた）男子修道会があり、70 名のブラザーがいます。滞在は 3 日間でした。テゼでは、祈りと労働の日々です。食事は、滞在ボランティアの若者が準備してくれます。祈りは一日 3 回で、鐘の音

とともに始まります。テゼの祈りは、歌と朗読で構成され、歌は短い旋律を繰り返すので、すぐに口ずさめます。続く沈黙で、心を合わせて祈ります。テゼでの生活は、ボランティアに加えて、巡礼者が働くことで成り立っています。その日初めて会った人と多くのコミュニケーションをとりながら、建物の中を掃除します。



▲聖なる扉への巡礼

4 つの教皇バジリカ（サン・ピエトロ大聖堂、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ

所。世界中から来た人たちが、同じ方を向いて心をひとつに祈ります。キリスト教徒ではない人も来ます。キリスト教を超えた、人類の一致の場所でした。

②ローマ

ローマでは、巡礼キットを受け取るころから始まりました。いよいよ「青年の祝祭」です。青年巡礼者は、帽子やバンダナといった同じ公式グッズを身につけ、一体感と誇りを感じます。それぞれの国旗を持って街を歩きます。スポーツの代表チームになったような気がしました。

大聖堂、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂、サン・パオロ・フオーリ・レ・ムーラ大聖堂）全てを巡り、聖なる扉を通じて聖堂の中へと入りました。聖パウロの墓などさまざまな重要な場所に触れ、教皇フランシスコの安息の地も訪れることができました。

7 月 31 日の聖イグナチオ・デ・ロヨラの日にイエズス会本部を訪問しました。聖イグナチオが埋葬されているジェズ教会でミサにあずかり、聖イグナチオが使っていた執務室を訪れて、数々の展示物で聖イグナチオを身近に体験しました。

③トル・ヴェルガータ

前夜祭、そして閉会ミサは、ローマから 16 km 離れたト

ル・ヴェルガータにある大学の敷地で行われました。ここで、「青年の祝祭」に参加する全ての青年と出会いました。長い旅の後に大家族の家に帰ったようでした。他の国の青年たちと話をし、プレゼントを交換して、交流を深めました。

前夜祭では、聖体賛美式が行われました。教皇レオ十四世の登場は、「パ・レオ」の歓声が飛び、熱狂的な空気に迎えられました。翌朝の教皇司式による閉会ミサは、百万人の若者が参加し、4百人の司教・7千人の司祭が共同司式をしました。

教皇は、私たち若者にメッセージを贈りました。「私たちは、すべてのものが予定され、固定された人生としてではなく、絶えず賜物と愛において新たに生まれる存在として造られているのです。…私たちはこの世のいかなるものも満たすことのできないものへの、深い、燃えるような渇きを覚えています。このような渇きを前に、効果のない代替物でこの渇きを鎮めようとして、自分の心をごまかしてはなりません。

ん。…わたしたちの魂の窓を優しくたたいてくれる方の前に立ちます。心を広げ、この方に自分の中に入ってきていただき、それから、限りない永遠の空間へとこぎ出すことは、すばらしいことです。…ぶどうの木の枝のようにイエスとひとつに結ばれた皆さまは、豊かな実を結びます。あなたがたは地の塩、世の光となります。…皆さまが出会うすべての人に皆さまの熱意と信仰のあかしを伝えることができますように。良い旅を続けてください。

④ アッシジ

ローマからバスで3時間行き、アッシジを巡礼しました。半日の滞在でした。聖フランシスコ大聖堂は、ジョットなどによるフレスコの聖画であふれていました。現地にいるチャン・ヴァン・ホアイ神父の解説を受け、絵画

に込められた信仰や、教義を伝える役割を体感しました。そして、巡礼団でミサにあずかり、静かな祈りの中でアッシジの聖フランシスコの生き方に思いをはせました。聖フランシスコが祈っていた時に、「私の教会を建て直さなさい」というキリストの声を聞いたサン・ダミアノ修道院は、洞窟の中のような小さな聖堂でした。聖クララが修道会を設立し、生涯過ごしたサン・ダミアノ聖堂を訪れ、建物が教会なのではなく、一人ひとりが信仰に向かい、同じ信仰を持つものが集う場所が教会である、と、あらためて感じました。

思い知りました。一方で、日常生活の中でそれを作る難しさも痛感しています。教会にいる子どもたちにとっても真の意味で教会と言える場所を作っていければ、と考えています。

⑤ まとめ

12日間の巡礼は、祈り・交流・一致の日々でした。日常から離れて祈りに集中できた期間となりました。ローマには百万人以上の若者が集まり、国・文化・生活の違いを越えた交流は、キリストのからだとしての一致でした。祈り・交流を通じて、希望に引き寄せられ、希望に満たされた巡礼でした。この体験をそれぞれの共同体や生活に、少しずつではありま

参加できたことに心から感謝しています。

● 聖体賛美式と

青年の集い・食卓会

12時半よりマリア聖堂にて、巡礼にも参加したグリーン・タン・アン神父司式による聖体賛美式が行われました。単純なフレーズを繰り返して、心に響くテゼの歌に導かれて、静かな祈りの時を持ちました。テゼでの3日間の祈りや、ローマでの聖体賛美式を思い起こしながら、改めて巡礼を振り返りました。その後13時45分より、青年たちが集い、ヨセフホールで食卓会が開かれました。

2025年聖年「青年の祝祭」巡礼団 献金報告と御礼

当教会の若手信徒を「青年の祝祭」に派遣するための献金活動を行い、信徒の皆さまより1,289,640円の献金をいただきました。

皆さまのご支援とお祈りに厚く御礼を申し上げます。

「青年の祝祭」巡礼団一同
聖イグナチオ教会青年派遣委員会

教会行事

これまでに行われた主な教会行事をご紹介します。

●幼児洗礼式

7月20日(日)と10月19日(日)ともに10時のミサの中で、高祖敏明主任司祭主司式により執り行われました。第一回目は9人、第二回目は5人の幼児が洗礼の恵みを授かりました。

高祖神父は第一回目の説教の中で、マルタとマリアのもてなしについて書かれた福音箇所(ルカ10:38〜42)を引用され、「動き回って働くマルタは手伝わないマリアへの不満を訴えます。イエスさまはマルタをいさめます。イエスさまが言いたいことは相手が何を望んでいるかを考えるゆとりがなく、自分の物差しでもてなしたつもりになっているのはもてなしではない、もてなすというのは相手の顔と目を見ながら、相手の話に耳を傾けること。それを選ぶことが大事だということでしょう。」

今日洗礼を受けた子どもたちにもそのように接することを一番に考えるよう、神さまは伝えたいのだと思います」と話され、子どもたちがキリストの光を世に輝かせることができるようお祈りされました。

叙階式・初ミサ

9月27日(土)14時から主聖堂で菊地功枢機卿の主司式のもとパウロ・ガン・グエン・タン・アン助祭の司祭叙階式が執り行われました。

翌28日(日)15時からベトナム語、10月12日(日)の10時ミサでは日本語による初ミサが行われました。

日本語の初ミサでは重い



▲叙階式 菊地枢機卿から授手を受けて

皮膚病を患った10人の病者のたとえ話(ルカ17:11〜19)を引用され、「イエスは、病気のいやしが単なる偶然や運のよさではなく、神の働きであると感じ、感謝する真の信仰が現れたサマリヤ人をたたえます。私たちも日々受けているすべてのものに感謝し、それが慈しみ深い神から与えられたことを心から理解する信仰が強められるように祈りましょう。神は先に私たちを愛してくださり、私たちのために命を捧げてくださいます。この神の愛と慈しみに心から応え、感謝と賛美を捧げるこの祭儀とともに味わいましょう」と話されました。

皆さま、どうぞ新司祭のために祈りください。

心より感謝を込めて

パウロ・ガン・グエン・タン・アン神父



聖イグナチオ教会の皆さま、こんにちは。このたび9月27日に司祭に叙階されたグエン・タン・アンと申します。司祭叙階にあたり、これまで支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。いつも私のためにお祈りくださり、また、温かく導いていただき、本当にありがとうございます。

今年2月から、助祭として月に1〜2回ほどミサで奉仕する機会をいただきましたが、その際も皆さまが温かく迎えてくださったことを、心から嬉しく思っております。

これからは司祭として、皆さまに仕えてまいります。



▲10月12日の日本語による初ミサ

パウロ・ガン・グエン・タン・アン神父

1990年11月16日 ベトナムで生まれる
2013年5月 入会、修練、哲学を学ぶ
2018年6月 来日
2年間日本語を学び、その後、中間期生として細江教会(下関市)で半年間、上智大学カトリック・イエズス会センターで1年間奉仕
2022年 神学課程に入る
2025年2月24日 助祭叙階
2025年9月27日 司祭叙階

その道を歩み続けるためにも、引き続き皆さまのお祈りを必要としております。どうかこれからもお祈りいただけますよう、よろしくお願いいたします。

2025 年教勢調査

実施日	9/28(日)	10/4(土)	10/5(日)
天候	晴れ	雨	曇り

●主日ミサの参加者

							(人)
実施日	時間	聖堂	言語	聖体拝領を受けた人	祝福を受けた人	聖体拝領も祝福も受けなかった人	計
9/28(日)	16:30	マリア聖堂	インドネシア語	89	6	3	98
10/4(土)	18:00	主聖堂	日本語	289	9	20	318
	19:30	主聖堂	ベトナム語	204	96	40	340
10/5(日)	7:00	主聖堂	日本語	101	1	4	106
	8:30	主聖堂	日本語	203	4	8	215
	10:00	主聖堂	日本語	429	33	20	482
	12:00	主聖堂	英語	835	69	229	1,133
	12:30	マリア聖堂	ポルトガル語	51	10	14	75
	13:30	主聖堂	スペイン語	115	8	56	179
	15:00	主聖堂	ベトナム語	542	293	145	980
	16:00	マリア聖堂	ポーランド語	26	3	21	50
	18:00	主聖堂	日本語	181	10	11	202
主日ミサ合計				3,065	542	571	4,178

日本語ミサ合計	1,203	57	63	1,323
外国語ミサ合計	1,862	485	508	2,855

●教勢調査の結果

9月28日(日)、10月4日(土)、5日(日)の3日間にわたり、今年の教勢調査が、各主日の聖堂係により実施されました。

ミサ出席者は4,178人(昨年は3,644人)でした。2004年以降、最多のミサ出席者4,900人を記録したコロナ直前の2019年と比較して、85%まで回復しています。

日本語ミサの出席者は、コロナ前には2,000人を超える水準で推移していましたが、今年は1,323人でした。

外国語ミサの出席者は、増加傾向が続いており、今年は2,855人と、ここ10年で最も多かった2017年の2,646人を上回りました。土曜日にも主日ミサが行われるようになったベトナム語ミサは、出席者合計が1,320人と、日本語ミサとほぼ同じ人数となっています。

教会活動連絡会便り

2024年度の「教会活動連絡会議」で、「教会活動連絡会の機能・運営の強化」について、対話を重ねてきました。前号に引き続き、当教会にある連絡会を紹介します。

福祉連絡会

隣人に仕えて

「福祉連絡会」は、教会内外で福祉活動をするグループによって構成されています。年に一度、各グループが集まり、連絡会議を開催しています。また、福祉連絡会の有志により、生活に困窮している方々のために「新年炊き出し」を行っています。

メンバーは、「音訳サービス」「海外医療協力切手」「グループつなぐ」「傾聴ルーム」「水曜ティーサロン」「聖イグナチオカレーの会」「タラ友の会」「富士聖ヨハネ学園支援グループ」「ベルマークグループ」「四ツ谷おにぎり仲間」の10グループです。

「音訳サービス」は、目の不自由な方が教会などの印

刷物を音で聞けるようにして、送っています。「グループつなぐ」は、高齢や障がいがあることで教会へ足を運べない方々への『マジス』発送（年10回）、帰天された信徒（1年間）のご遺族とを繋ぐ「合同追悼ミサ」（主聖堂）、長寿（現在80歳以上）の方々のお祝い会「長寿の集い」（ヨセフホール）において、奉仕をしています。（2023年よりグループ名を、（旧）訪問グループからグループつなぐに変更しています。通称「Gつなぐ」です）。

「富士聖ヨハネ学園支援グループ」は、バザーへの出店などを通じて、「ベルマークグループ」は集まったベルマークを送って、山梨にある障がい者のための施設である富士聖ヨハネ学園を支援しています。「タラ友の会」は、フィリピンの貧しい子どもたちの教育と生活を支援してい

ます。「海外医療協力切手」は、使用済み切手をアジアやアフリカの保健医療に役立てています。

「傾聴ルーム」は、誰にも話せない気がかりや悩み苦しみを、守秘義務が守られる環境で話せる場所となっています。「水曜ティーサロン」は、平日ミサ後の分かち合いの場所を提供しています。いずれも水曜が活動日で、水曜ティーサロンには、傾聴ルームにいらっしゃる方々も多く参加されます。

「聖イグナチオカレーの会」「四ツ谷おにぎり仲間」は、生活に困窮する方々たちを支援しています。カレーの会は、当教会でカレー弁当を配布しています。おにぎり仲間は、ホームレスの方々などを訪問して、作製したおにぎりの配布や生活保護申請の補助などを行っています。

音訳サービス

目の不自由な方々のために、『マジス』や『カトリックジャパンダイジェスト』などを音声データにして、送付しています。「必要な方々の目となるように」という思いでの「音訳」活動です。約半年間

の研修期間がありますが、音訳はもちろん、録音物のPC編集などにご興味のある方も、ぜひ教会事務局までご連絡ください。

水曜ティーサロン

第2第4水曜日の12時ミサ後から14時まで、分かち合い交流する場所を用意しています。レジャアホールで、テーブルクロスを掛けてお花を生け、コーヒーと紅茶を提供します。

水曜ティーサロンのメンバーが話の輪に入り、信徒同士をつなぐりの橋渡しをするよう心掛けています。毎回60名ぐらゐが参加してくださります。サロンで分かち合いに参加されたい方も、グループでの活動に関心のある方も、レジャアホールでお待ちしています。

ベルマークグループ

2024年度は5万6380点（一点が1円）のベルマークを送ることができました。富士聖ヨハネ学園では、点数を使って必要な備品の購入に役立てています。ベルマークの収集箱は、教会事務室前のポスト横に設置し

ています。

ベルマークグループでは、整理集計をお手伝いして下さる方を募集中です。毎月でなくとも、短時間でも構いません。毎月第2火曜日10時12時に信徒会館404で活動していますので、是非立ち寄りください。

私はあなたを愛した

教皇レオ十四世は、10月9日に最初の使徒的勧告「ディレクシー・テ」（「私はあなたを愛した」という意味）を発表しました。その中には、「教会が『キリストの教会』でありたいと望むなら、『真福八端の教会』でなければなりません。小さな者に居場所を与え、貧しい人とともに貧しく歩み、貧しい人が特別な地位を占めることなくなければなりません」（「ディレクシー・テ」22）とあります。

支援を必要とする人たちのために、福祉連絡会の各グループは活動に取り組んでいます。福祉連絡会として、各グループの活動のさらなる充実に向けて、グループ間の連携深化などに努めていきたいと思っています。



Family of St. Ignatius

～スペイン語圏から～

スペイン語コミュニティーのメンバーです。

43年間の結婚生活において、私は夫がカトリックの信仰に目覚めるように祈ってきました。もはや彼は回心しないだろうとあきらめかけていた時、ある日、私はイエスの聖心に奉獻しました。すると、家族は思いがけない恵みを賜りました。夫がついに、「洗礼を受けたい」と言い出したのです。
欣喜雀躍！

それだけでも途方もない贈り物でしたが、夫はただ洗礼を受けただけではなく、初聖体、そして堅信の秘跡も同時に受けました。しかも神様は限りなく寛大な方ですから、ただ3つの秘跡を受けてそれで終わりではありませんでした。息子も私も驚いたことに、その時を境に、彼の性格はがらりと変わりました。前みたいに短気で気難しく、意地悪ではなくなり、別人のように再生して、毎日の生活が昔みたいに穏やかになりました。
今、我が家は神様への感謝の気持ちでいっぱいです。

●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(10月2日開催)

1. 教会黙想会

日 時：11月22日(土)
10:00 講話・黙想 12:00 ミサ
場 所：主聖堂

テーマ：神の民としてひとつになろう

指 導：グエン・タン・ニャー神父
(日本カトリック司教協議会 外国籍信徒司牧部
門 ベトナム人司牧部門協力司祭)

事前予約不要、YouTube 配信あり。
詳細はホームページ、ポスターをご覧ください。

2. 子どもと家庭のクリスマス ミサ

日 時：12月20日(土) 15:00
場 所：主聖堂 事前申込み不要

3. クリスマス・イヴ ミサ

日 時：12月24日(水)
15:00、17:00、19:00、21:00(英語)
17:00、19:30(ベトナム語、上智大学 10 号館)

昨年同様、日本語ミサは予約制となります。
参加方法などの詳細はホームページ、ポスター、チラシ
でご確認ください。

●2025年クリスマスバザーのお知らせ●

日 時：11月30日(日) 8:30ミサ終了後～15:30

インターナショナルな19グループの出展を予定しています。

献金は聖イグナチオ教会を通じ、カンボジア・シェム
リアップ教区タオム教会や、国内の被災地にお送りする
予定です。

皆さまのご協力をお願いいたします。

*出展申込みはすでに締め切りました。
*実行委員会では、バザー頒布用の献品は受付けていま
せん。
個人の献品の教会宛寄付や郵送、当日の持ち込みはご
遠慮ください。

クリスマスバザー実行委員会

●財務報告●

9月28日(日)「世界難民移住移動者の日の献金」
1,369,959円は、日本カトリック難民移住移動者委員会を
通じて、幅広く支援に役立てられます。

●カレーの会から●

最近、毎週約300人の生活困窮者の方々に、カレーを配
布しています。特にお米は貴重で、1回に約40kgを使用し
ます。皆さまからのお米や品物のご寄付に、心より感謝申
上げます。

12月には冬のプレゼントとして、手袋、靴下、使い捨てカ
イロ、帽子、タオル、お菓子、缶詰など全て新品の物を配布し
たいと考えています。

皆さまのご寄付をお待ちしていますので、「カレーの会
宛」として、事務室前に置いて頂けるとありがたいです。
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

●あしたのいえプロジェクト●

「あしたのいえプロジェクト」では、性別や国籍を問わず
生活困窮等のために住まいを失った方または、失いそうな
方に一時的な住まい(シェルター)を提供する活動をして
います。

運営はマリアテレジア基金および皆さまからのご寄付
に頼っており、あしたのいえ事務所では随時食糧や日用消
耗品、衣料品等のご寄付を受け付けております。

保管場所が限られていますので、誠に勝手ながらご寄付
の場合は内容を事前に教会事務室までご連絡ください。

ご寄付の品はシェルター利用者や生活相談に来られる
方へお渡ししており、厳しい状況に置かれた方々が生き抜
くための大きな支えになっています。

日頃の皆さまからの温かいご支援や励ましに改めて感
謝申し上げますとともに、今後もご協力賜れましたらありが
たく存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【ご寄付方法】

①郵便振替：00110-4-252741 聖イグナチオ教会

*通信欄に「援助・福祉献金 あしたのいえプロジェクト」
とご記載ください。

②献金袋：主聖堂後方のあしたのいえ専用の献金袋をご
利用ください。

【活動日時、場所】

毎週月・水・金、11:00～19:00、信徒会館別棟103号室
にて活動しています。

●掲示板の利用について●

教会内の掲示板を利用される際は、右記
QRコードのルールをご確認ください。

皆さまのご協力をお願いいたします。



11 月の典礼と行事

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

1 (土) 諸聖人の祭日	
2 (日) 死者の日	日曜サロン・ミニオリエンテーション(受け皿) 11:00~12:30 ヨセフホール
7 (金)	初金曜日
9 (日) 年間第32主日	子どもとともにささげるミサと七五三祝福式 10:00 日曜サロン・ミニオリエンテーション(受け皿) 11:00~12:30 ヨセフホール
12 (水)	傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
15 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:00 ヨセフホール
16 (日) 年間第33主日	結婚感謝ミサ 10:00 ミサがわかるセミナー 13:00 ヨセフホール 「感謝の典礼①」 講師：石井祥裕氏 聖書週間(16日~23日)、ミャンマーデー、貧しい人のための世界祈願日
19 (水)	クリプタに安置され11月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 『社会問題とカトリック教会の考え 2025年度連続セミナー』 18:30 ヨセフホール シノドスの教会 - 誰も排除されない、誰とも共に歩む教会を目指して - 難民の友に、難民と共に - 彼らの声を聴こう - 講師：松浦由佳子氏(アルベなんみんセンター 定住支援コーディネーター)
22 (土)	教会黙想会 10:00 主聖堂
23 (日) 王であるキリストの祭日	日曜サロン・ミニオリエンテーション(受け皿) 11:00~12:30 ヨセフホール 世界青年の日 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール
24 (月)	聖フランシスコ・ザビエルの取り次ぎを願う9日間の祈り(~12月2日まで)
26 (水)	傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
27 (木)	ヤングオールド映画会 「ナザレのイエス 後編」 13:00 ヨセフホール
30 (日) 待降節第1主日	クリスマスバザー

*マジス 12月・1月合併号は12月7日(日)発行予定です。

主任司祭：高祖 敏明

 助任司祭：ボニー・ジェームス
グエン・タン・ニャー
サトルニノ・オチョア
柴田 潔

 協力司祭：ジェリー・クスマノ
ハビエル・ガラルダ
グエン・ヴァン・テー
関根 悦雄
マヌエル・シルゴ

 神 学 生：アントニオ・マリオ・ダ・
コスタ・ソアレス

 シスター：マルセラ・ロサス
フロール・フロレセ
ジェスリン・ブエンディア
ディン・グエン・ゴック・
トウエン

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel
7:00/12:00/18:00
 【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel
土曜 18:00/19:30 (Việt Nam)
日曜 7:00/8:30/10:00/18:00
12:00 (English) /13:30 (Español) /
15:00 (Việt Nam)

 【月の第1日曜日 1st Sunday】
Our Lady's Chapel

12:30 (Português) /16:00 (Polski)

 【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

カトリック麹町教会
(聖イグナチオ教会)

〒102 - 0083

千代田区麹町 6 - 5 - 1

TEL 03 - 3263 - 4584

FAX 03 - 3263 - 4585

<http://www.ignatius.gr.jp>
 Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (linktree) とは多
数のリンクをまとめて表示して
いるツールのことです。このQR
コードを読み取ると教会ホーム
ページ、教会ガイド、Twitter、
Facebook、Instagram、
YouTube へアクセスできます。

*本文中の役職名等は、寄稿もしくは取材時のものです。